



2020年にはじまった「羽村ゆとろぎアーツプロジェクト」を6年目の今年も開催します。芸術文化を社会で活かす方法について学ぶ、武蔵野美術大学芸術文化学科の学生13名がアーティストとともに羽村の文化・生活・社会・自然からインスピレーションを受けてさまざまな作品を制作し、展覧会を開催します。

羽村市を歩いていると、あふれる自然のなかで、生活に溶け込んださまざまな歴史が感じられます。歴史は羽村をめぐり人々をあたたく包み込んでいるようです。はじめて羽村を訪れた私たちにとって豊かな歴史とそれをつなぐ市民のみなさんがとても鮮やかに映りました。

今回の展覧会は「ゆとろぎ」開館20周年から発想して、「わーめぐり、つながるまちでー」をテーマとしました。学生作品にあわせて版画家・北嶋勇佑さんの作品も特別出品します。また、11月の子どもフェスティバルで学生と北嶋さんが企画したワークショップで羽村の子どもたちが作った作品も展示します。さらに、イベントを通じて展覧会をわかりやすく楽しくお伝えします。ゆとろぎで羽村についての新しい発見があればうれしく思います。

特別出品：北嶋勇佑（版画家）

1989年生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程美術専攻版画コース修了。日本版画協会会員。ひと目見てわかる親近感のあるモチーフを、独自の版画技法「木版モノタイプ」で表現する。作品発表以外にも造形ワークショップ開催など、教育普及にも力を入れている。プリモホールゆとろぎ（羽村市生涯学習センター）に「羽村ゆとろぎアーツプロジェクト2020」で制作および展示した版画作品《たまがわきょうだい》を寄贈しロビーで展示中。



北嶋勇佑
《たまがわきょうだい》

公式サイト・SNS

学生の活動の様子などは
サイトやSNSなどで随時発信していきます！



公式サイト

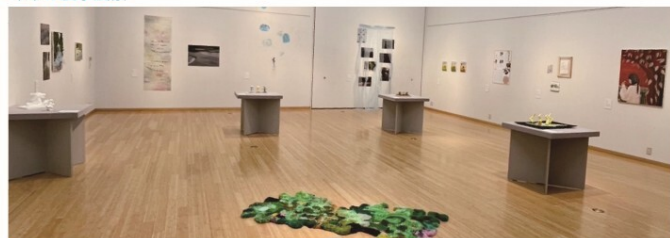


X



Instagram

昨年の展示風景



11月に開催された
子どもフェスティバルで
羽村の子どもたちが
作った作品も展示！

関連イベント

◆ 学生たちのギャラリートーク

「まわろう！おしゃべり鑑賞会」

武蔵野美術大学の学生たちがそれぞれの視点で表現した、羽村の魅力が詰まった作品を見て、聞いて、おしゃべりしながら、いろいろな羽村を体感しよう！

日時 12月27日（土）15:00～15:45

対象 どなたでも

定員 20名

会場 展示室（1階）

申し込みは不要です、開始時間までに会場へお越しください。
途中参加・退出も可能です。

◆ 造形ワークショップ

「手と手でつながる にんぎょうづくり」

磁石でつながる人形を制作します。
手から広がるあたたかなつながりを感じてみよう！

日時 12月27日（土）
13:00～14:00

対象 羽村市在住・在学の
4歳～小中学生
小学校2年生以下は保護者の方の
同伴が必要です

定員 20名
（事前申し込み・先着順）

会場 レセプションホールA（地階）

申込方法

ワークショップ当日のプログラム開始1時間前までに、ゆとろぎの窓口
または右の申込フォームのどちらかで申し込んでください。
申込時に、住所、氏名、電話番号、学校・学年をお知らせください。



申込フォーム



施設・イベント申し込みに関するお問い合わせ

プリモホールゆとろぎ

Tel：042-570-0707 ※月曜休館 ただし祝日は開館

展示・イベント内容に関するお問い合わせ

羽村ゆとろぎアーツプロジェクト

メール：acd_hamura@fs.musabi.ac.jp

感じる ゆとろぎ
つながる ゆとろぎ

